marantz®

Super Audio CD player

SA8004

取扱説明書

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

高温注意

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

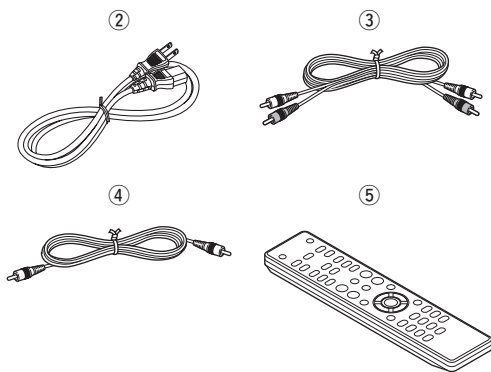
目次

マランツのスーパーオーディオ CD プレーヤーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）……1
② 電源コード【本機専用】（長さ：約1.8ｍ）……1
③ 音声ケーブル（長さ：約1.0ｍ）……1
④ リモート接続ケーブル……1
⑤ リモコン（RC004SA）……1
⑥ 単4形乾電池……2
⑦ 保証書（梱包箱に貼り付けています）……1

②　③　④　⑤

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

本機の特長

トロイダルトランス
電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。

大容量ブロックコンデンサ
電源回路には音質検討を重ねたオーディオ用 3300 μ F 大容量コンデンサを搭載しています。

高音質フィルムコンデンサー、電解コンデンサー
本機では上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAMSA2 送り出しアンプ

ダブル・レイヤード・シャーシ

高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子

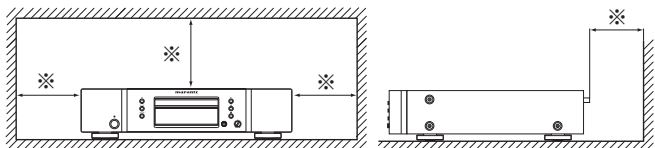
CD-R/CD-RW ディスク再生対応

本機指定のファイル形式（WMA/MP3）が記録された CD-R/RW/ROM ディスク、または 本機指定のファイル形式（MP3/WMA/WAV/AAC）を記録した USB メモリーおよび iPod 再生に対応

D/A コンバーターとして使用可能
外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力することができます。

取り扱い上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

※ 10cm 以上離す

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れた位置でご使用ください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、やわらかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してから移動してください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ スーパーオーディオCD
本機で使用できるスーパーオーディオ CD は、以下のマークが付いているものです。

❷ 音楽用CD
本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❸ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

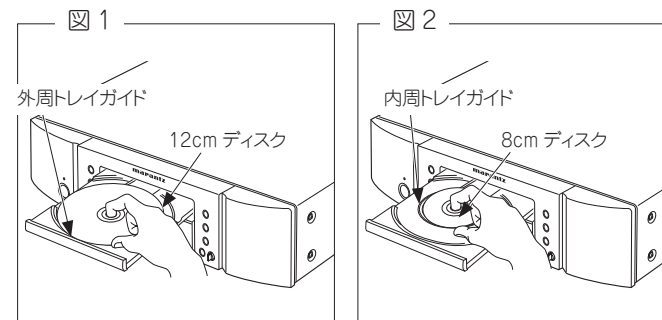
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- ディスクトレイに DVD など本機が対応していないディスクを入れると、ディスクトレイの開閉が 1 分程度できなくなります。このような場合は、ディスプレイに“Error”を表示しますので、その後 ⏏ボタンを押してください。
- また、MP3 や WMA 以外のファイルのみ入っているディスクをディスクトレイに入れると、“No File”を表示します。

ご注意

- 電源をオフにしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

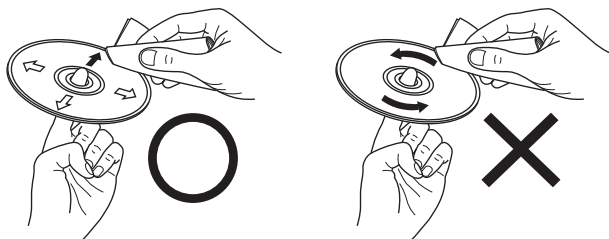
ディスクの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

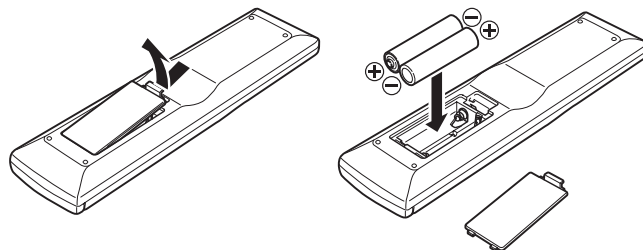
ご注意

レコードスプレーや帯電防止剤、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

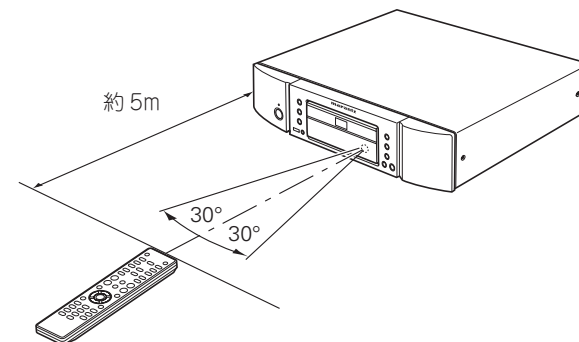
① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示とおりに入れる。

③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池をいれるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。

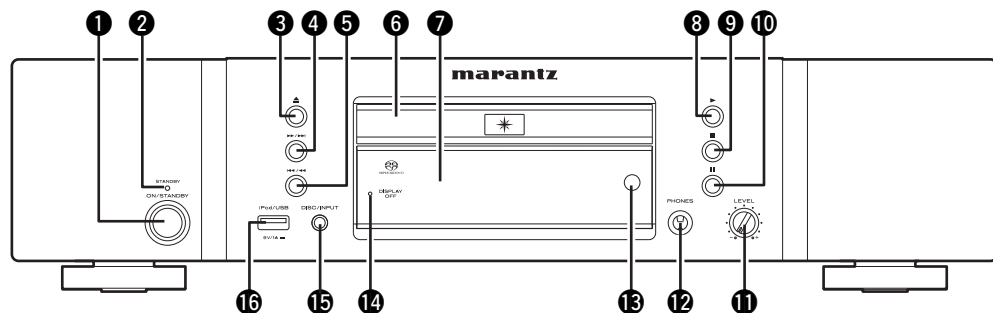
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

フロントパネル

❶ **電源スイッチ (ON/STANDBY)** ··························· (11)

❷ **電源表示 (STANDBY)** ··························· (11)
本機の状態により次のように変わります。
- 電源オン時 ··························· 消灯
- 電源スタンバイ時 ··························· 赤色

❸ **ディスクトレイ開閉ボタン (⏏)** ··························· (12)

❹ **スキップ/サーチボタン (▶▶, ▶▶I)** ··························· (13)

❺ **スキップ/サーチボタン (I◀◀, ◀◀)** ··························· (13)

❻ **ディスクトレイ** ··························· (12)

❼ **ディスプレイ** ··························· (8)

❽ **プレイボタン (▶)** ··························· (12)

❾ **ストップボタン (■)** ··························· (12)

❿ **ポーズボタン (❚❚)** ··························· (12)

⓫ **ヘッドホン音量調整つまみ (LEVEL)** ··························· (13)

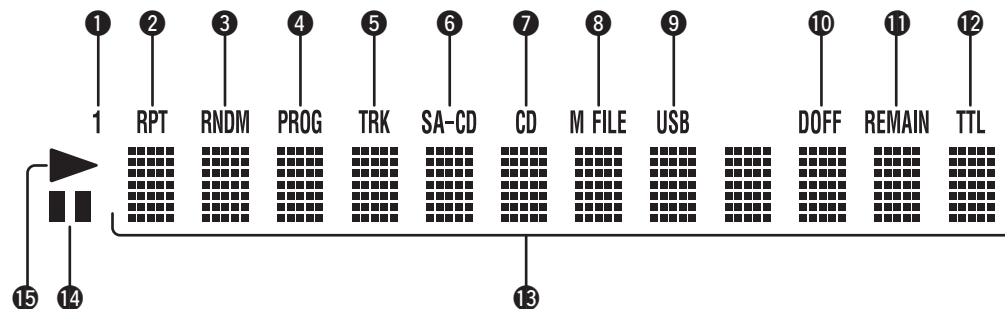
⓬ **ヘッドホン端子 (PHONES)** ··························· (13)

⓭ **リモコン受光部** ··························· (7)

⓮ **ディスプレイオフ表示 (DISPLAY OFF)** ··························· (13)

⓯ **ディスク/インプットボタン (DISC/INPUT)** ··························· (12)

⓰ **USB端子 (iPod/USB)** ··························· (16)

ディスプレイ

❶ **1(リピート)インジケーター**
1 曲リピート再生時に点灯します。

❷ **RPT(リピート)インジケーター**
リピート再生時に点灯します。

❸ **RNDM(ランダム)インジケーター**
ランダム再生時に点灯します。

❹ **PROG(プログラム)インジケーター**
プログラム再生時に点灯します。

❺ **TRK(トラック)インジケーター**
再生中の曲番(トラックナンバー)などの表示の上に点灯します。

❻ **SA-CD インジケーター**
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(スーパーオーディオ CD)

❼ **CD インジケーター**
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(オーディオ CD)

❽ **M FILE インジケーター**
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(WMA/MP3)

❾ **USB インジケーター**
USB/iPod モードで動作しているときに点灯します。

❿ **D OFF(デジタル出力OFF)インジケーター**
オーディオ CD 信号のデジタル出力設定が"Off"に設定されているときに点灯します。
(☞14 ページ)

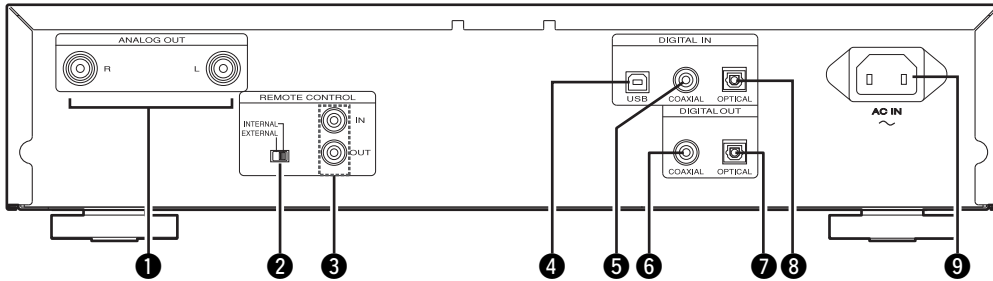
⓫ **REMAIN(リメイン)インジケーター**
トラックの残り再生時間を表示すると、その上に点灯します。

⓬ **TTL(トータルタイム)インジケーター**
総残り時間や、総プログラム時間を表示すると、その上に点灯します。

⓭ **メイン表示部**
再生するディスクの時間表示、文字情報、設定メニューなどを表示します。

⓮ **❚❚(ポーズ:一時停止)インジケーター**
一時停止時に点灯します。

⓯ **▶(プレイ:再生)インジケーター**
再生時に点灯します。

リアパネル

❶アナログ音声出力端子
（ANALOG OUT）………………………………（10）

❷エクスターナル/インターナルスイッチ
（EXTERNAL/INTERNAL）………………（17）

❸リモートコントロール入出力端子
（REMOTE CONTROL IN/OUT）……（17）

❹デジタル入力 USB 端子
（DIGITAL IN USB (PC)）…………………（16）

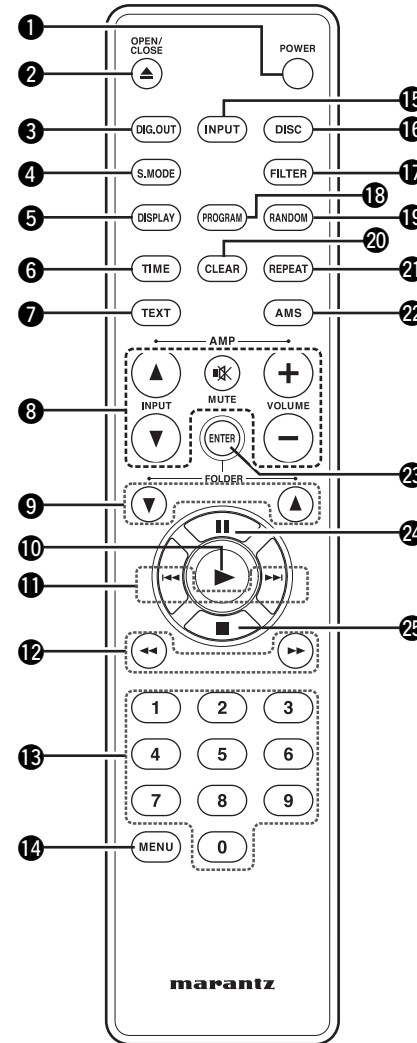
❺デジタル音声入力端子
（DIGITAL AUDIO IN COAXIAL）……（15）

❻デジタル音声出力端子
（DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL）‥（15）

❼デジタル音声出力端子
（DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL）‥（15）

❽デジタル音声入力端子
（DIGITAL AUDIO IN OPTICAL）……（15）

❾ACインレット（AC IN）……………………（10）

リモコン

❶電源ボタン（POWER）…………………………（11）

❷ディスクトレイ開閉ボタン（▲）…………（12）

❸デジタル出力設定ボタン（DIG.OUT）
……………………………………………………（14）

❹サウンドモードボタン…………………………（11）
（S. MODE）

❺ディスプレイボタン（DISPLAY）………（13）

❻時間表示切り替えボタン
（TIME）…………………………………………（13）

❼テキストボタン（TEXT）………………（23,25）

❽アンプ用操作ボタン
音量調節ボタン（+、-）
入力切替ボタン（▲、▼）
ミューティングボタン（MUTE）

❾フォルダーボタン……………………………（20）
（FOLDER ▲、▼）

❿プレイボタン（▶）……………………（12,19,20）

⓫スキップボタン（I◀◀、▶▶I）……………（13）

⓬サーチボタン（◀◀、▶▶）…………………（13）

⓭番号ボタン（0〜9）…………………………（13）

⓮メニューボタン………………………………（22）

⓯インプットボタン（INPUT）………………（12）

⓰ディスクボタン（DISC）……………………（11）

⓱フィルターボタン（FILTER）……（未使用）

⓲プログラムボタン（PROGRAM）…………（14）

⓳ランダムボタン（RANDOM）………………（13）

⓴クリアボタン（CLEAR）……………………（14）

㉑リピートボタン（REPEAT）…………………（13）

㉒オートミュージックスキャンボタン
（AMS）…………………………………………（14）

㉓エンターボタン（ENTER）…………………（22）

㉔ポーズボタン（❚❚）…………………………（12）

㉕ストップボタン（■）…………………………（12）

- このリモコンは、マランツ製品のプリメインアンプを操作することができます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

基本接続

この章では、アナログ機器（アンプ）、電源コードの接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

❑ **デジタル接続**（☞15ページ）
❑ **USB メモリー/iPod との接続**（☞16ページ）
❑ **パソコンとの接続**（☞16ページ）
❑ **リモートコントロール端子**（☞17ページ）

ご注意

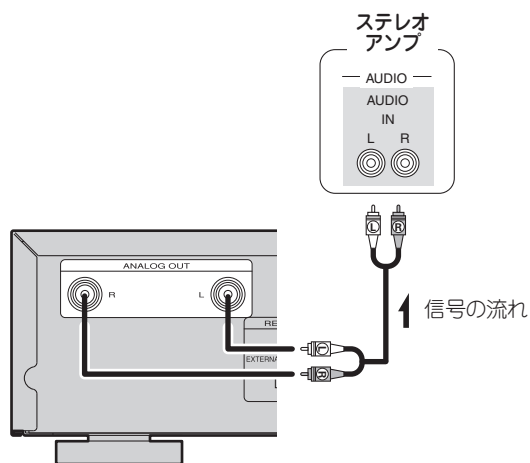
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。
- アンプのPHONO入力端子には接続しないでください。

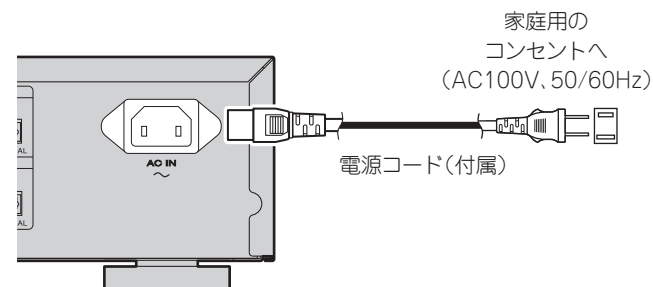
準備

接続に使用するケーブル

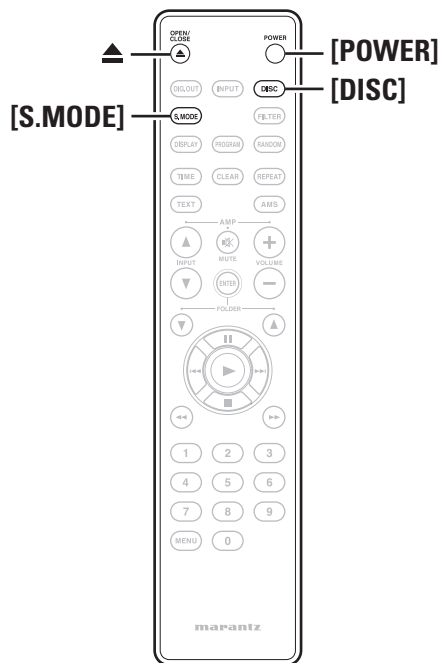
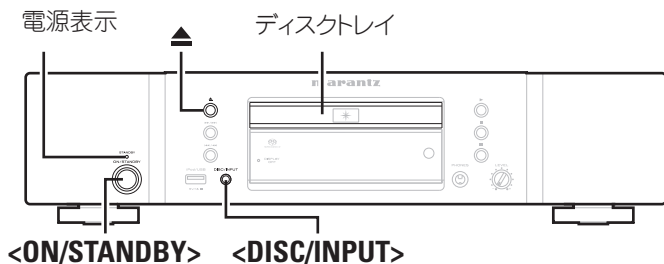
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル
アナログ接続（ステレオ）   ステレオ音声ケーブル（付属）

アナログ接続

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

基本操作

この章では、CD を再生するまでの手順、CD を再生中におこなうことができる操作を説明します。
その他の操作方法は、以下の章をご覧ください。

❑ **MP3やWMAファイルの再生**（☞17ページ）
❑ **iPod®の再生**（☞19ページ）
❑ **USBメモリーの再生**（☞20ページ）
❑ **D/A コンバーターを使う**（☞21ページ）
❑ **メニュー設定**（☞22ページ）

準備

サウンドモードの切り替え（再生レイヤー）

スーパーオーディオ CD のディスクには 2 種類のレイヤーを持つものがあります。再生する前に次の操作で再生するレイヤーを選んでください。
スーパーオーディオ CD の詳細については、“スーパーオーディオ CD”（☞ 26 ページ）をご覧ください。

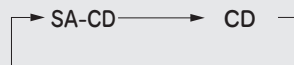
サウンドモードは設定メニューの“SA-CD Mode（サウンドモードの切替え）”（☞ 23 ページ）でも設定できます。

1 **<ON/STANDBY> または [POWER] を押して、電源をオンにする。**

2 **<DISC / INPUT> または [DISC] を押して、入力ソースを“DISC”にする。**

3 **ディスクを入れる。**
⏏ を押して、ディスクトレイを開閉します。

4 **[S.MODE] を押して、設定したいレイヤーに切り替える。**

→ SA-CD → CD →

【選択できるモード】

SA-CD	：スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します。（お買い上げ時の設定）
CD	：スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。

- 設定した最優先レイヤーが収録されていないディスクを装着したときは、自動的に他のレイヤーに収録されている情報を表示します。

ディスクに収録されていないレイヤーを選ぶと、自動的にそのディスクに存在する他のレイヤーを再生します。

ご注意

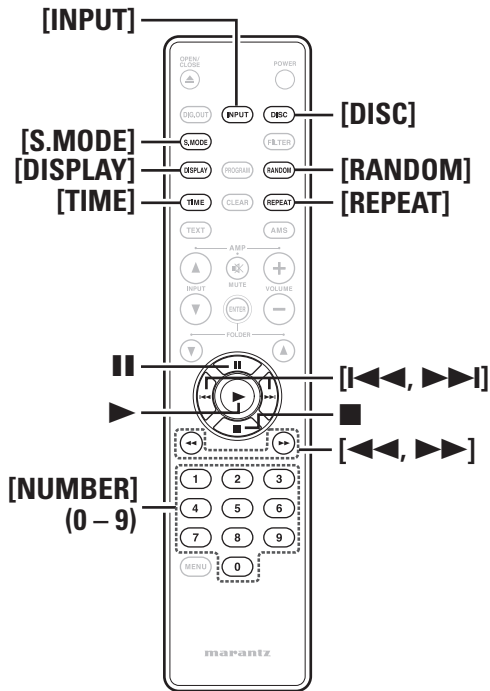
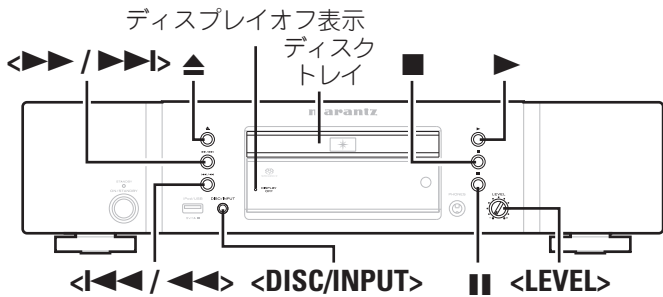
スーパーオーディオ CD エリアのみのディスクを挿入したとき、サウンドモードの切り替えはできません。

電源をスタンバイ状態にする

<ON/STANDBY> または [POWER] を押す。
電源がスタンバイ状態になり、電源表示が点灯します。

電源をスタンバイ状態にする前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。

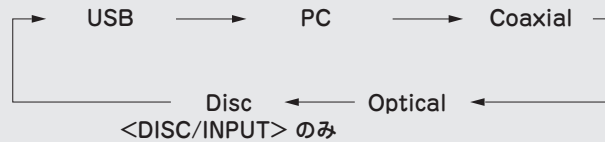
ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。
長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースの切り替え

本機はディスクの再生以外に下記の再生に対応しています。

- デジタル音声入力信号の再生
- フロントパネルの USB ポートからの USB メモリーのファイルの再生
- フロントパネルの USB ポートからの iPod ファイルの再生
- リアパネルの USB ポートから入力するパソコンのファイルの再生

接続したデバイスを再生する前に、次の手順で入力ソースを切り替えてください。

<DISC/INPUT> または [INPUT] を押して、入力ソースを選びます。

【選択できるモード】

モード	説明
USB	：フロントパネルの USB ポート（iPod/USB）に接続したデバイスのファイルを再生します。（☞19, 20 ページ）
PC	：リアパネルの USB ポート（DIGITAL IN）にパソコンを接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します。（☞21 ページ）
Coaxial	：リアパネルの COAXIAL 端子（DIGITAL IN）にデジタル機器を接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します。（☞21 ページ）
Optical	：リアパネルの OPTICAL 端子（DIGITAL IN）にデジタル機器を接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します。（☞21 ページ）
Disc	：本機のディスクトレイに入っているディスクを再生します。（☞12 ページ）

✎

[DISC] を押して、入力ソースを"Disc"に切り替えることもできます。

CD を再生する

スーパーオーディオ CD や CD を再生する

1 **<DISC/INPUT> または [DISC] を押して、入力ソースを"Disc"にする。**

2 **ディスクを入れる。**

- ⏏ を押して、ディスクトレイを開閉します。
- ▶ を押してもディスクトレイを閉じることができます。
  ▶ を押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生をはじめます。

3 **スーパーオーディオ CD を再生するときは、[S.MODE] を 2 回押して、再生したいレイヤーを選ぶ。**

4 **▶ を押す。**

"▶" 表示が点灯し、再生をはじめます。

- ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

❚❚ を押す。

- "❚❚" 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ または ❚❚ を押してください。

早送り / 早戻し（サーチ）をする

【本体で操作する場合】

再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を長押しするとサーチをはじめます。▶ を押すと通常の再生に戻ります。

- サーチ中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を長押しすると、サーチスピードが 1→2→3→4→1 と切り替わります。
- 4 が最も早くサーチします。

【リモコンで操作する場合】

再生中に **[◀◀]** または **[▶▶]** を押すとサーチをはじめます。▶ を押すと通常の再生に戻ります。

- サーチ中に **[◀◀]** または **[▶▶]** を押すと、サーチスピードが 1→2→3→4→1 と切り替わります。
- 4 が最も早くサーチします。

頭出しをする

【本体で操作する場合】

再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を押す。

- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **<I◀◀/◀◀>** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

【リモコンで操作する場合】

再生中に **[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。

- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **[I◀◀]** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

好きな曲を聞く（ダイレクト選曲）

[NUMBER]（**0** ～ **9**）で曲を選ぶ。

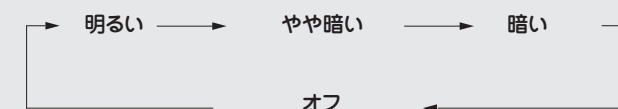
【例】4 曲目　：数字ボタンの **[4]** を押します。

【例】12 曲目　：数字ボタンの **[1]** と **[2]** を続けて押します。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

ディスプレイの表示を消灯する

再生中に [DISPLAY] を押す。

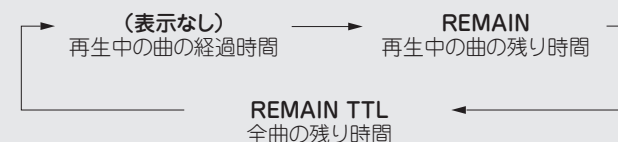
- **[DISPLAY]** を押すごとに，ディスプレイの明るさは以下の様に切り替わります。

ディスプレイ表示をオフにすると、“DISPLAY OFF” 表示が点灯します。

ご注意

停止中はディスプレイの表示を消灯しません。再生中のみ消灯します。

時間表示を切り替える

再生中に [TIME] を押す。

- ボタンを押すたびに時間表示が切り替わります。

ヘッドホンを使って聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に差し込む。

音量を調整する

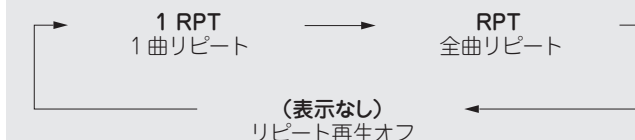
<LEVEL> を回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押して、リピートモードを選ぶ。

- **[REPEAT]** を押すたびに次のようにリピートモードを切り替えて表示します。

【選択できるモード】

モード	説明
全曲リピート “RPT”	：全曲をくり返して再生します。
1 曲リピート “1 RPT”	：1 曲のみをくり返して再生します。
リピート再生オフ（表示なし）	：通常の再生に戻ります。

リピート再生を設定しているときは、ランダム再生や AMS 再生はできません。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 **停止中に [RANDOM] を押す。**
ディスプレイの“RNDM”表示が点灯します。

2 **▶ を押す。**
ランダム再生をはじめます。

ランダム再生を止める

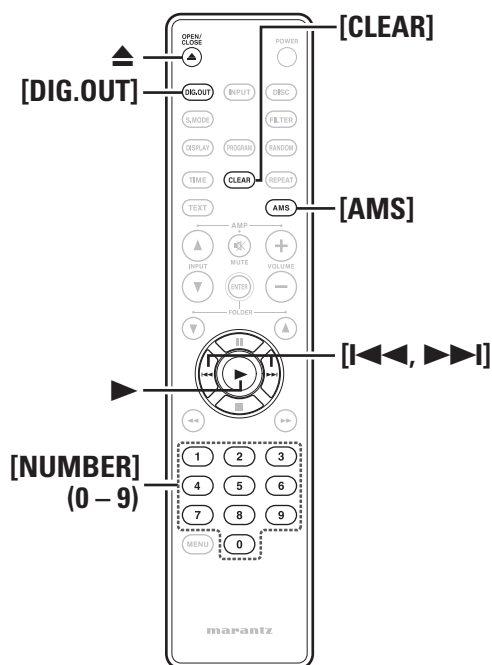
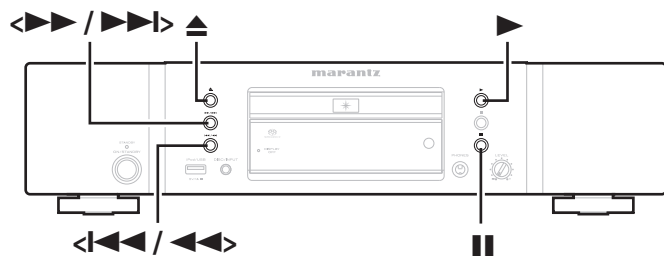
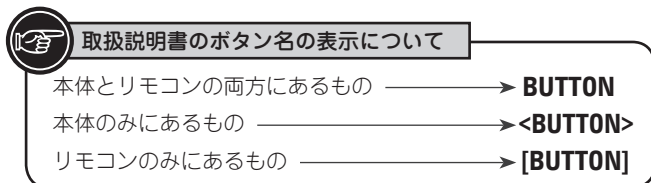
停止中に **[RANDOM]** を押す。

ディスプレイの“RNDM” 表示が消灯し、ランダム再生モードを解除します。

ご注意

ランダム再生の設定中はリピート再生、AMS 再生を行なうことはできません。

- ランダム再生中に **<▶▶/▶▶I>** または **[▶▶I]** を押すと、押すたびに本機が並べ変えた曲に移り、再生を始めます。
- ランダム再生中に **<I◀◀/◀◀,▶▶/▶▶I>** を押し続けるか、**[◀◀, ▶▶]** を押すと、再生中の曲内をサーチします。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開いても、ランダムモードを解除します。

ご使用になる前に
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
用語の解説
故障かな？と思ったら
保証と修理について
主な仕様
索引

好きな順に再生する（プログラム再生）

1 停止中に [PROGRAM] を押す。
ディスプレイの"PROG" が点灯し、プログラム再生モードになります。

2 [NUMBER]（0 ～ 9）を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。
【例】 3 曲目、12 曲目の順にプログラムしたい場合は、
[3] を押したあと、[1] と [2] を続けて押します。
- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。

3 ▶ を押す。
プログラムした順番に再生をはじめます。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

プログラム再生したい曲を追加する

停止中（"PROG" 表示が点灯しているとき）にプログラムを最後の曲の後に追加することができます。
[NUMBER]（**0** ～ **9**）を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。

プログラムした曲を取り消す

停止中に **[CLEAR]** を押す。
[CLEAR] を押すごとに、プログラムしている最後の曲から順に取り消します。

プログラムした曲をすべて取り消す

プログラム再生中は、■ を 2 回押す。
停止中は、■ を 1 回押す。
- ⏏ を押してディスクトレイを開けても、プログラムをすべて取り消します。

プログラム再生は、最大 24 曲まで設定できます。

ご注意
- "PROG" 表示中はリピート再生、ランダム再生、AMS 再生をおこなうことはできません。
- MP3 や WMA ファイルはプログラム再生ができません。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開けたりすると、プログラムモードを解除します。

聴きたい曲を探す（AMS 再生）

1 曲目から順番にすべての曲の先頭部分を次々に再生します。聴きたい曲を探すときに便利です。
（AMS 再生 : オートミュージックスキャン再生 ）

1 停止中または再生中に [AMS] を押す。
- ディスプレイの"▶" が点滅し、10 秒間 AMS 再生をはじめます。
- 10 秒間 AMS 再生をすると、自動的に次の曲の再生に切り替わります。

2 聴きたい曲が見つかったら、▶ を押す。
"▶"表示が点灯に切り替わり、通常の再生に戻ります。

ご注意
プログラム再生中およびランダム再生中に AMS 再生をおこなうことはできません。

デジタル出力を設定する

スーパーオーディオ CD および CD を再生中、リアパネルの DIGITAL OUT 端子（COAXIAL, OPTICAL）のからの出力を設定します。

停止中に [DIG. OUT] を押す。
[DIG.OUT] を押すごとにリアパネルの DIGITAL OUT 端子（COAXIAL, OPTICAL）の出力の On と Off を切り替えます。

【選択できるモード】

On	: デジタル信号を出力します。
Off	: デジタル信号を出力しません。

- デジタル出力をオフにすると、ディスプレイに"D OFF" が点灯します。
- デジタル出力をオフにすると、ANALOG OUT 端子からの音声出力はより良い音質で楽しむことができます。
- デジタル出力の設定は、ディスクトレイを開けたり、電源をオフにしたりしても解除しません。

ご注意
スーパーオーディオ CD 、または WMA/MP3 データ の入った DISC は、DIGITAL OUT 端子からの出力はできません。

応用接続

この章では、デジタル機器との接続、USB メモリー /iPod との接続、パソコンとの接続、およびリモートコントロール接続の接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

❑ **アナログ接続** （☞10ページ）
❑ **電源コードの接続** （☞10ページ）

準備

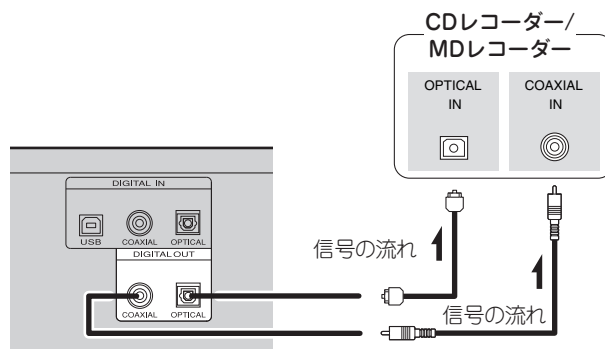
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

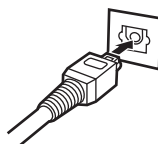
デジタル接続

接続する際、市販の光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルをご使用ください。

デジタル音声出力

本機に CD レコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、本機から出力するデジタル音声をデジタル録音することができます。

ご注意

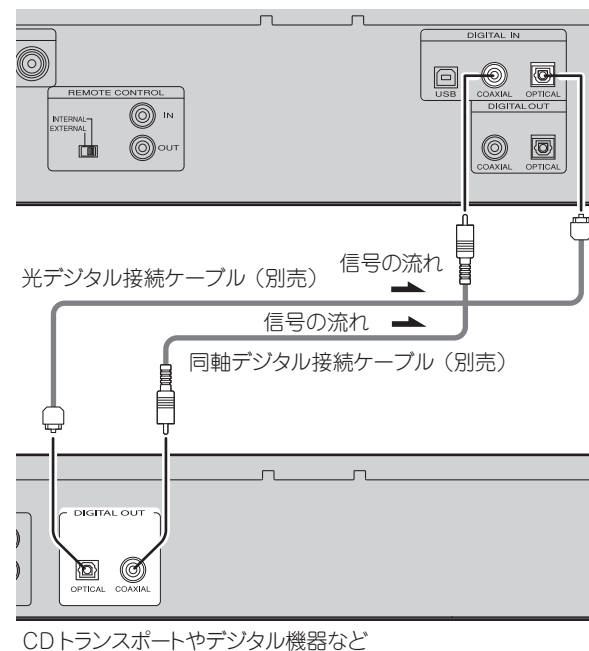
スーパーオーディオ CD の HD レイヤーの信号と、ディスクに収録された MP3、WMA の信号はデジタル出力できません。デジタル出力ができるのは、オーディオ CD、スーパーオーディオ CD の CD レイヤー、USB、iPod、PC、COAXIAL、OPTICAL のデジタルオーディオ信号です。

デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売）で接続するとき

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

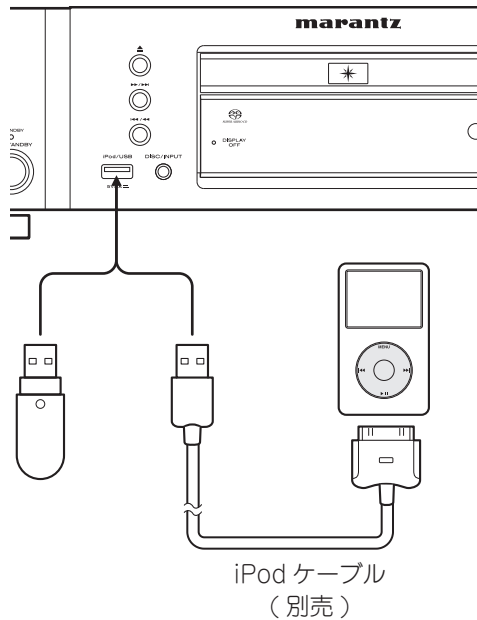
デジタル音声入力

本機に CD トランスポートやデジタルオーディオ出力を備えた機器を接続すると、本機を D/A コンバータとして使用することができます。
（"D/A コンバーターを使う"（☞ 21 ページ））

CD トランスポートやデジタル機器など

ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

USB メモリー /iPod との接続

本機のフロントパネルの USB ポートと USB メモリー /iPod を接続します。

ご注意

本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20 cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

❑対応している iPod

Made for
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone
- iPhone 3G
- iPhone 3GS

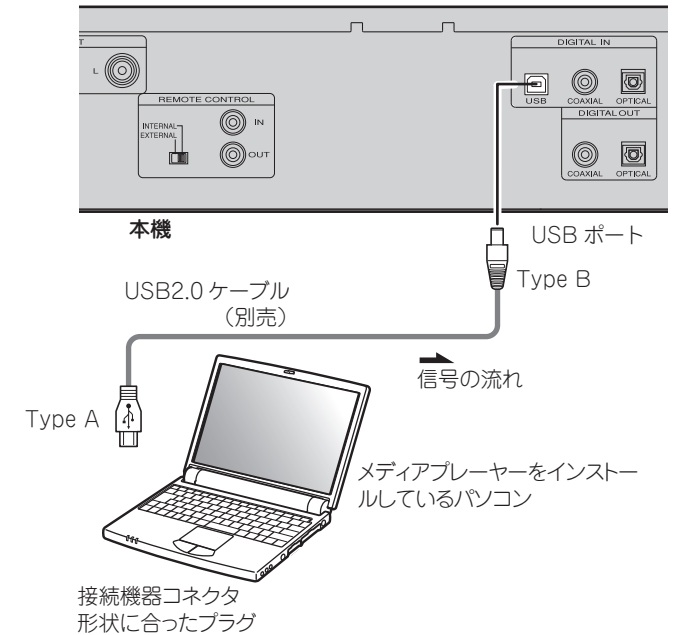
iPhone / iPod touch 1st generation / iPod classic / iPod nano 2nd generation (aluminum)

iPhone 3G / iPod touch 2nd generation / iPod 5th generation (video) / iPod nano 3rd generation (video)

iPhone 3GS / iPod touch 3rd generation / iPod nano 1st generation / iPod nano 4th generation (video)

iPod nano 5th generation (video camera)

パソコンとの接続

本機のリアパネルの USB port にパソコンを市販の USB 接続ケーブルで接続すると、本機を D/A コンバータとして使用することができます（“D/A コンバーターを使う”（☞ 21 ページ）。

リモートコントロール端子

本機とマランツ製のアンプを組み合わせて使用するときに、アンプから本機に送られてくる本機の操作信号を受けて本機が動作します。

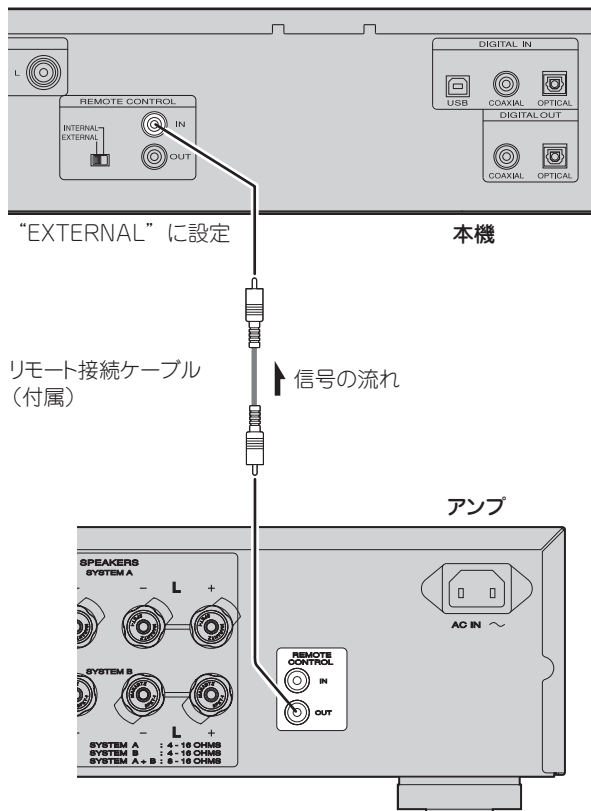
❑接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

❑設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”にします。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに、本機のみ使用する場合は、スイッチを“INTERNAL”に設定してください。

応用操作

USB メモリーまたは iPod を再生する前に

1 **<ON/STANDBY> を押す。**

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを USB 端子に接続する。**

ご注意

- 本機に USB メモリーを接続すると本機は USB メモリー に記録されているファイルを読み込みます。読み込み時間は USB メモリーに記録されている容量の大きさによります。再生可能な最大ファイル数および最大フォルダ数が記録された場合は、ファイルの読み取りに数分間かかります。
- 本機の電源を切るときは、USB メモリーまたは iPod の再生を止めてからおこなってください。

MP3 や WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に記録することにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

❑ライティングソフトのフォーマット

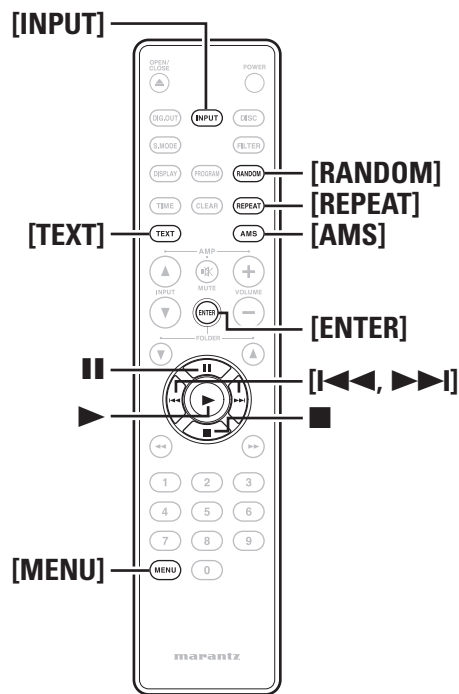
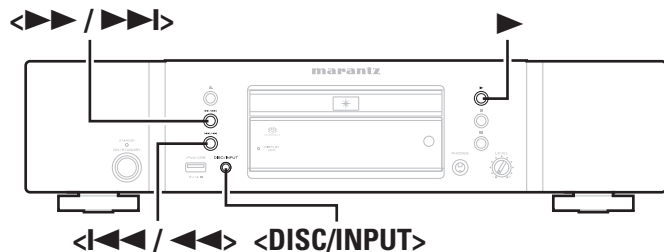
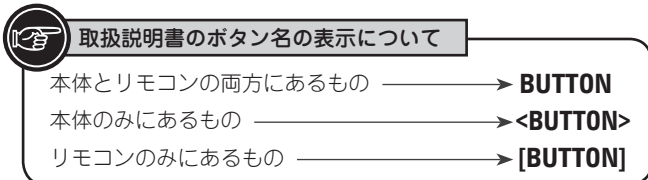
ISO9660 レベル 1、2
拡張フォーマット（Juliet.Romeo）

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：648 個
最大フォルダ数：299 個

❑ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）

❏タグ情報

ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)
META タグ(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子 ension
MP3	44.1kHz	MPEG-1 Audio Layer-3 の場合、32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps	.mp3
WMA	44.1kHz	48/64/80/96/128/160/192 kbps	.wma

- 本機では、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
- ファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルが記録された CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。

2 ▶ を押す。
再生をはじめます。

再生するファイルを変えるには

<I◀◀/◀◀, ▶▶/▶▶I> または **[I◀◀, ▶▶I]** でお好みのファイルを選ぶ。

表示を切り替えるには

再生中に **[TEXT]** を押す。
ファイル名は 8 文字のみ数秒間表示します。
ファイル名は自動でスクロール表示しません。

MP3やWMAファイルの再生順番について

MP3 や WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

❏フォルダの再生順序

CD-R/CD-RW

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・、の順番に再生します。

USB メモリー

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ･･･、を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・、の順番に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

Made for iPod iPhone

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPod® を再生する

1 **<DISC/INPUT>** または **[INPUT]** を押して、入力ソースを“USB”にする。

2 本機のフロントパネルの USB 端子に、iPod を接続する。（☞16 ページ）

❏操作するモードを選ぶ

3 **[MENU]** を押して、“iPod Setup=>”を [I◀◀]、[▶▶I] で選び、**[ENTER]** を押す。（☞24 ページ）

4 [I◀◀]、[▶▶I] で“iPod Ctrl=>”を選び、**[ENTER]** を押す。（☞25 ページ）

5 [I◀◀]、[▶▶I] で操作するモードを選ぶ。

【選択できるモード】

1. Direct ：iPod で操作します。
2. Remote ：本機及びリモコンで操作します。

表示モード		1. Direct	2. Remote
表示するディスプレイ		iPod の ディスプレイ	本機の ディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	○	×
操作できるボタン	本機とリモコン	○	○
	iPod	○	×

❏再生するデータベースを選ぶ

6 [I◀◀]、[▶▶I] で “Database=>”を選び、**[ENTER]** を押す。（☞24 ページ）

7 [I◀◀]、[▶▶I] でデータベースを選び、**[ENTER]** を押す。
データベースが確定します。

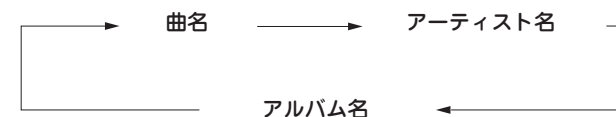
❏リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンの ボタン	iPod の ボタン	本機の動作
▶	▶II	曲を再生する
II	▶II	ポーズ
■	–	フォルダの先頭の曲に戻る
I◀◀, ▶▶I	I◀◀, ▶▶I	前の曲、次の曲へスキップ 早送り、巻き戻しはできません
REPEAT	–	リピート再生の切り替え
RANDOM	–	シャッフル再生の切り替え
AMS	–	曲の先頭を 10 秒間再生し次のトラックへスキップ
TEXT	–	ファイル名を表示

ご注意

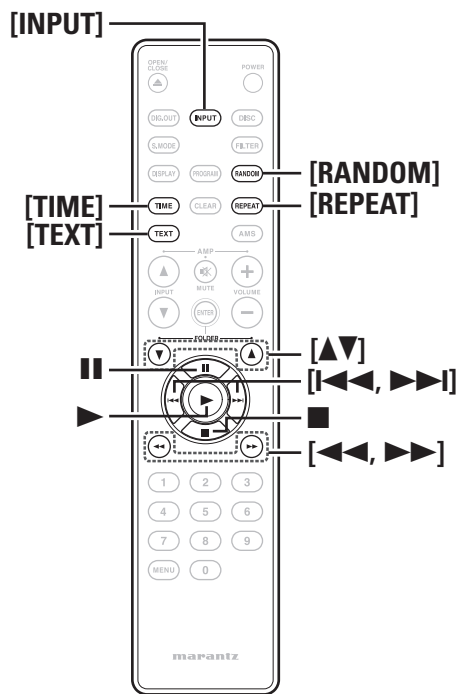
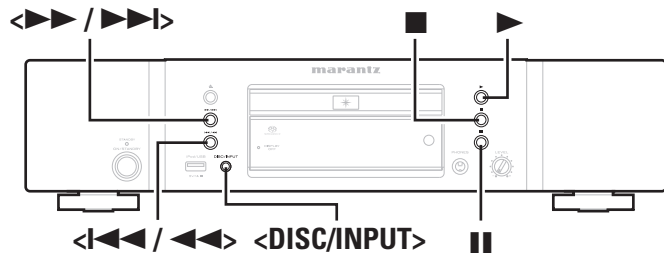
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

❏本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **[TEXT]** を押す。
ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

iPod を取りはずす

1 ■ を押して、再生を停止する。

2 USB 端子から iPod ケーブルを抜く。

本体とリモコンの両方にあるもの ——→ BUTTON
本体のみにあるもの ——→ <BUTTON>
リモコンのみにあるもの ——→ [BUTTON]

USB メモリーの再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで記録されているファイルを再生できます。

❑USB 対応ファイルシステム

“FAT16” または “FAT32”

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：65,535 個
最大フォルダ数：700 個

❑ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）
M4A（AAC）
WAV（LINER PCM）

❑タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能なMP3/WMAファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32、44.1、48 kHz	MPEG-1 Audio Layer-3 の場合、32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps	.mp3
WMA	32、44.1、48 kHz	CBR: 48〜320 VBR: Peak 384 （表示は平均ビットレート値の対応となります）	.wma
AAC	32、44.1、48 kHz	8〜320 kbps	.m4a
リニアPCM	リニアPCM: PCM 32/44.1/48 上記以外は対応外	リニアPCM: 16 bit	.wav

- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 <DISC/INPUT> または [INPUT] を押して、入力ソースを“USB”にする。

2 本機のフロントパネルの USB 端子に、USB メモリーを接続する（☞16 ページ）。

3 ▶ を押す。
再生をはじめます。

再生中にフォルダやファイルを変える

【本体で操作する場合】
再生中に <I◀◀/◀◀> または <▶▶/▶▶I> を押す。

【リモコンで操作する場合】
- **フォルダ**
  [▲、▼] でフォルダを選び、[ENTER] を押す。
- **ファイル**
  [I◀◀、▶▶I] でファイルを選ぶ。

ファイルの再生順番は、本機に USB メモリーを接続したときに、本機が自動的に設定します。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

II を押す。
- “II” 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ または II を押してください。

早送り / 早戻し（サーチ）をする

【本体で操作する場合】
再生中に <I◀◀/◀◀> または <▶▶/▶▶I> を長押しする。
- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

【リモコンで操作する場合】
再生中に [◀◀] または [▶▶] を押す。
- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

くり返し再生する(リピート再生)

[REPEAT] を押す。

順不同に再生する(ランダム再生)

停止中または再生中に **[RANDOM]** を押す。
- “RAND”表示が点灯し、自動的にランダム再生をはじめます。
- ランダム再生中に **[RANDOM]** または ■ を押すと、“RAND”表示が消灯し、ランダム再生を解除します。

表示を切り替えるには

再生中に **[TEXT]** を押す。

時間表示を切り替えるには

再生中に **[TIME]** を押す。

ご注意
- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

USB メモリーを取りはずす

1 ■ を押して、再生を停止する。

2 USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。

ご注意
USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

D/A コンバーターを使う

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機でアナログ変換して出力することができます(D/A コンバーター)。

デジタル機器と接続して再生する(Coax/Opt)

<DISC/INPUT> または [INPUT] を押して、入力ソースを“Coaxial” または “Optical”にする。
入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。
“Coax : xxxx“
“Opt : xxxx“
xxxx はサンプリング周波数を表示します。
- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock “を表示します。

ご注意
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、128kHz、176.4kHz および 192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モード→ B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります

ディスク再生モードに切り替えたいとき

<DISC/INPUT> または **[DISC]** を押す。

パソコンと接続して再生する(USB)

あらかじめ、本機のリアパネルの USB 端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは“パソコンとの接続”(☞ 16 ページ)をご覧ください。

<DISC/INPUT> または [INPUT] を押して、入力ソースを“PC”にする。
本機表示が“PC : xx kHz” と表示したのち、約 10 秒間待ってから、パソコンの音楽再生ソフトを起動し操作してください。本機が D/A コンバーターとして機能します。

ご注意
- 再生、停止などの操作は、パソコンで操作してください。このとき本機のキーおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、ボリュームおよびイコライザーの調整も操作できます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音は出ません。
- パソコンの音楽再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB 端子に接続したままパソコンを再起動してください。
- 対応サンプリング周波数は、32/44.1/48/96 kHz です。
- 音楽再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が、異なることがあります。

❑パソコン(推奨システム)

OS

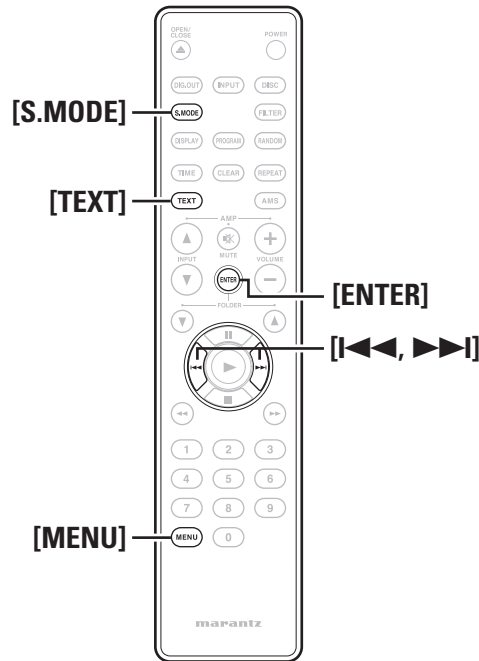
- Windows® XP Service Pack2、Windows Vista および Windows 7
- Macintosh OSX 10.6.3

ソフトウェア

- Windows Media Player と iTune をサポートしています。

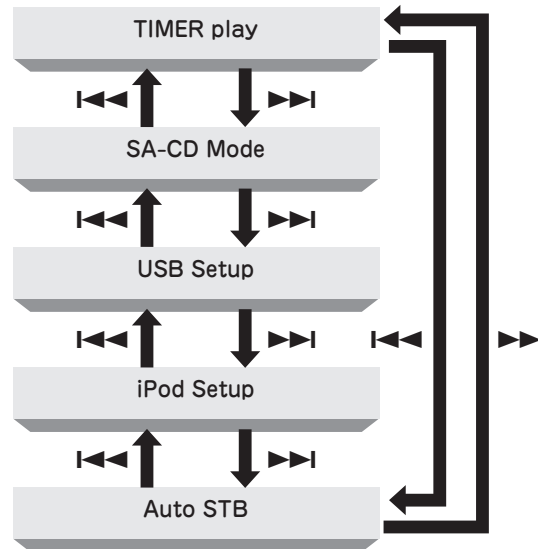
USB

- USB 2.0: USB Full speed/USB Audio Class1

本体とリモコンの両方にあるもの ――――→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ――――→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ――――→ **[BUTTON]**

メニュー設定

以下の機能の設定ができます。
詳しくは、各記載ページをご覧ください。

1 **停止中に [MENU] を押す。**

2 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して、設定したい項目を選ぶ。**

【選択できるモード】

Timer play (タイマープレイの設定)
オーディオタイマーの設定をおこないます。(☞22 ページ)

SA-CD Mode (サウンドモードの切替え)
ハイブリッド CD のレイヤーの設定をおこないます。(☞23 ページ)

USB Setup (USB メモリーの操作)
USB メモリー のファイル再生の設定をおこないます。(☞23 ページ)

iPod Setup (iPod の操作)
iPod のファイル再生を設定をおこないます。(☞24 ページ)

Auto STB (オートスタンバイモード)
オートスタンバイ機能を設定をおこないます。(☞25 ページ)

3 **[ENTER] を押す。**

ご注意
リピート再生中またはランダム再生中は、メニュー設定をおこなえません。

Timer play (タイマープレイの設定)

本機では市販の外部オーディオタイマーと連動したタイマープレイができます。

1 **再生するメディアを本機に接続する。**

2 **[|◀◀]、[▶▶|] で"TIMER PLAY=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[|◀◀]、[▶▶|] でタイマープレイ設定の On または Off を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

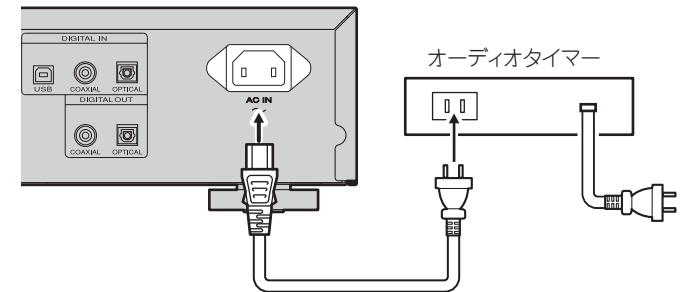
Off	: タイマープレイを設定しません。
On	: タイマープレイを設定します。

4 **ON を設定したとき、[|◀◀]、[▶▶|] で再生するメディアを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

CD/SA-CD	: DISC メディアを再生します。
USB/iPod	: USB メモリーを再生します。

5 **[MENU] を押す。**
タイマープレイの設定を保存します。

6 **オーディオタイマーを設定します。**

ご注意
オーディオタイマーへの接続、および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。

SA-CD Mode（サウンドモードの切替え）

❑スタートサウンドモードの切り替え

スタートサウンドモードの切り替えの階層は下記のとおりです。

1 **[I◀◀]、[▶▶I]** で “SA-CD Mode=>” を選び、**[ENTER]** を押す。

2 **[I◀◀]、[▶▶I]** で再生するレイヤーを設定し、**[ENTER]** を押す。

【選択できるモード】

SA-CD ：

- スーパーオーディオ CD のハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入するとスーパーオーディオ CD 層を読み込みます（お買い上げ時の設定）。
- リモコンの **[S.MODE]** ボタンを押すと、CD 層に切り替えることができます。
  再度、リモコンの **[S.MODE]** ボタンを押すと、スーパーオーディオ CD 層に戻ります。

CD ：

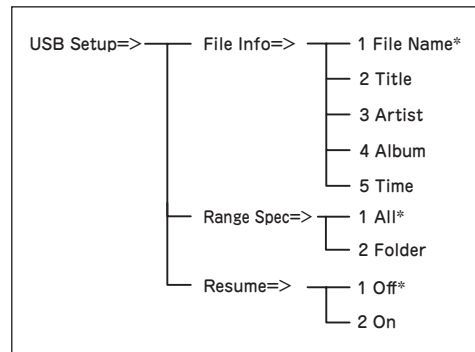
- スーパーオーディオ CD のハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入すると CD 層を読み込みます。
- リモコンの **[S.MODE]** ボタンを押してもサウンドモードの切り替えはできません。
  スーパーオーディオ CD エリアのみのディスクを挿入した場合は、スーパーオーディオ CD 層を読み込みます。

3 **[MENU]** を押す。
スタートサウンドモードの設定を保存します。

ご注意

リピート再生中またはランダム再生中は、メニュー設定をおこなえません。

USB Setup（USB メモリーの操作）

USB メモリーの操作の階層は下記のとおりです。

＊ お買い上げ時の設定

❑File Info（ファイル情報表示の選択）

USB メディアの場合、MP3 等のタグ情報を各ファイル再生時に表示することができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I]** で、“USB Setup=>”を選び、**[ENTER]** を押す。

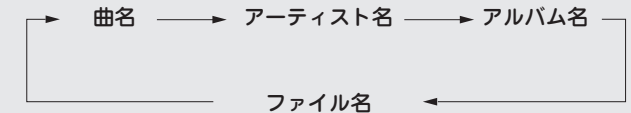
2 **[I◀◀]、[▶▶I]** で、“File Info=>”を選び、**[ENTER]** を押す。

3 **[I◀◀]、[▶▶I]** で表示したい情報を選び、**[ENTER]** を押す。

【選択できるモード】

1.File Name	：ファイル名を表示します。
2. Title	：曲名を表示します。
3. Artist	：アーティスト名を表示します。
4. Album	：アルバム名を表示します。
5. Time	：時間情報を表示します。

4 **[MENU]** を押す。
表示を終了します。

- 通常再生時にリモコンの **[TEXT]** ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの **[TEXT]** ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの **[TEXT]** ボタンを押すと、ファイル情報を次のように切り替えて表示します。

❑Range Spec.（再生する範囲を選ぶ）

再生するとき、USB メモリー内の全てのファイルを再生するか、またはフォルダ内のファイルを再生するかを選ぶことができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I]** で“USB Setup =>”を選び、**[ENTER]** を押す。

2 **[I◀◀]、[▶▶I]** で、“Range Spec=>”を選び、**[ENTER]** を押す。

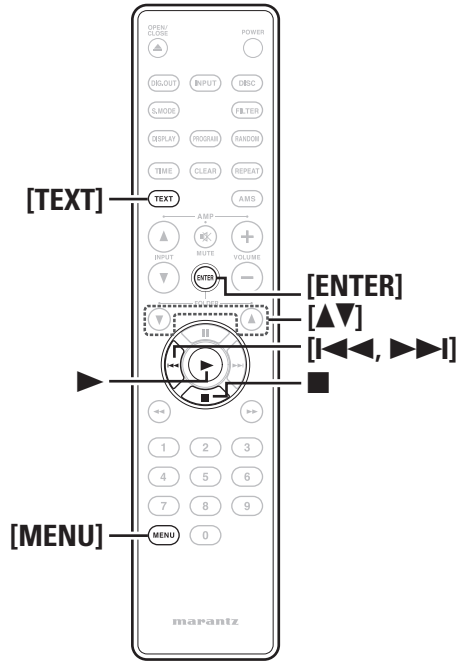
3 **[I◀◀]、[▶▶I]** で、再生したい範囲を選び、**[ENTER]** を押す。

【選択できるモード】

1. All	：USB メモリー内の全てのファイルを再生します。
2. Folder	：選んだフォルダのファイルを再生します。

4 **[MENU]** を押す。
再生する範囲の設定を保存します。

取扱説明書のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]

❑Resume（前回停止していたところから再生する）

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で"USB Setup =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Resume=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、レジューム再生の設定のオンまたはオフを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1. Off ：レジューム再生を設定しません。

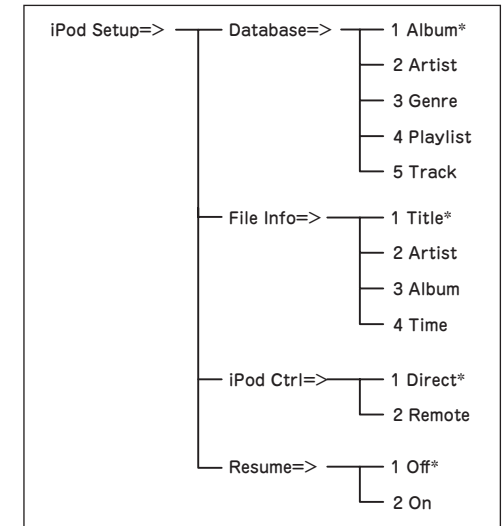
2. On ：レジューム再生を設定します。

4 **[MENU] を押す。**
レジューム再生の設定を保存します。

ご注意

- レジューム再生は、同一の USB メモリーを再生したときのみ有効になります。異なる USB メモリーを再生する場合は、先頭にあるファイルから再生します。
- 同一の USB メモリーで、ファイルを追加、または削除した場合は、希望する曲から再生できない場合があります。
- レジューム再生は、再生していたファイルの先頭から再生されます。

iPod Setup（iPod の操作）

iPod の操作の階層は下記のとおりです。

＊ お買い上げ時の設定

❑Database（iPod のデータベースの選択）

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で "iPod Setup =>" を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Database=>" を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で再生するファイルのデータベースを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるデータベース】

1 Album / 2 Artist / 3 Genre / 4 Playlist / 5 Track

4 **[MENU] を押す。**
表示を終了します。

5 **[▲、▼] で再生したいファイルが入っているフォルダを選び、[ENTER] を押す。**
フォルダに含んでいるファイルを表示します。

6 **再生したい音楽ファイルを [I◀◀]、[▶▶I] で選び、▶ を押す。**
再生をはじめます。

ご注意
この設定は"iPod Ctrl" 設定を"Remote" にしたときに有効になります。

❑File Info(ファイル情報表示の選択)

iPod の場合、ファイル情報をファイル再生時に表示することができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で "iPod Setup =>" を選び、[ENTER] を押す。**

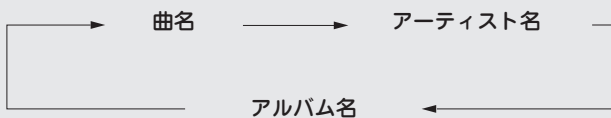
2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"File Info=>" を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、表示したい情報を選び、[ENTER] を押す**

【選択できるモード】

1. Title	: 曲名を表示します。
2. Artist	: アーティスト名を表示します。
3. Album	: アルバム名を表示します。
4. Time	: 時間情報を表示します。

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存します。

- 通常再生時にリモコンの **[TEXT]** ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの **[TEXT]** ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの**[TEXT]**ボタンを押すと、曲名→アーティスト名→アルバム名→曲名と表示が変わります。

ご注意
この設定は"iPod Ctrl" 設定を"Remote" にしたときにおこなえます。

❑iPod Ctrl(iPod を操作する機器の選択)

iPod の操作をおこなう機器を選ぶことができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で"iPod Setup =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で"iPod Ctrl=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、操作をおこなう機器を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1. Direct	: iPod で操作します。
2. Remote	: 本機及びリモコンで操作します。

4 **[MENU] を押す。**
操作する機器の設定を保存します。

ご注意
- "1 Direct"に設定している場合、Play、Pause、Next、Previous および Stop がリモコンで操作できます。
- "1 Direct"に設定しているときに 1G Nano を接続すると、1G Nano は"1 Direct"に対応していないため、モードは"2 Remote"に切り替わります。

❑Resume(前回一時停止していたところから再生する)

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で"iPod Setup =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Resume=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] でレジューム再生の設定のオンまたはオフを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1. Off	: レジューム再生を設定しません。
2. On	: レジューム再生を設定します。

4 **[MENU] を押す。**
操作する機器の設定を保存します。

ご注意
- レジューム再生は、再生していたファイルの先頭から再生されます。
- ■ を押して停止状態にしたときは、レジューム再生はできません。

Auto STB(オートスタンバイモード)

停止状態が 30 分以上続いたとき、本機はスタンバイ状態になります。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で"Auto STB =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、オートスタンバイ機能のオンまたはオフを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

On	: オートスタンバイモードを有効にします。
Off	: オートスタンバイモードを無効にします。

3 **[MENU] を押す。**
オートスタンバイ機能の設定を保存します。

ご注意
本機の入力ソースを"PC" に設定したとき、使用するパソコンのアプリケーションによってはオートスタンバイ機能が動作しない場合があります。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)
音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

W

WMA (Windows Media Audio)
米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード（符号化）することができます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

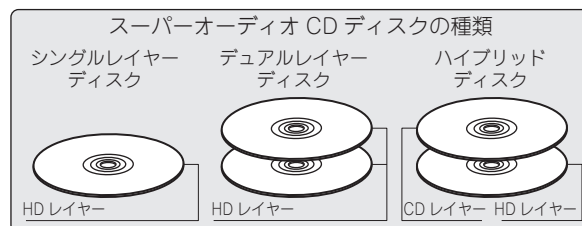
さ

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スーパーオーディオ CD
スーパーオーディオ CD には以下の 3 つの種類があります。

① **シングルレイヤーディスク**
HD レイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオ CD です。

② **デュアルレイヤーディスク**
HD レイヤーが二層構造のスーパーオーディオ CD です。高音質で長時間の再生ができます。

③ **ハイブリッドディスク**
HD レイヤーと CD レイヤーの二層構造のスーパーオーディオ CD です。CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーで再生することができます。

- HD レイヤーとは、スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層のことです。
- CD レイヤーとは、通常の CD プレーヤーで読み取り可能な層のことです。

は

ビットレート（Bit rate）
ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータを処理したかを表わします。

ピュアダイレクト（Pure direct）
表示部およびデジタル出力をオフにして、音声信号をより高音質で再生することができる機能です。

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか
❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティングの各営業所、または当社のサービスセンターにご連絡ください。

現象	原因	処置	ページ
ディスクが回らない	•電源プラグがコンセントから抜けている。	•電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
	•本機の電源が入っていない。	•本機の電源をオンにしてください。	11
	•ディスクが正しい位置に入っていない。	•ディスクを正しく乗せてください。	6
	•ディスクが裏表さかさまに入っている。（ディスクの印刷面が下になっている）	•ディスクを正しく乗せてください。	6
ディスクが途中で回らなくなり、止まる	•ディスクが汚れている。	•ディスクの表面をきれいにしてください。	7
	•ディスクに傷がついている。	•傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	–
	•ディスクが反っている。	•ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	–
ディスクは回るが音が出ない	•アンプ・スピーカの接続が正しくない。	•ケーブル類を正しく接続してください。（アンプの説明書をご覧ください。）	10
	•アンプの電源がオンになっていない。	•アンプの電源を入れてください。（アンプの説明書をご覧ください。）	–
	•アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。	•アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（アンプの説明書をご覧ください。）	–
	•アンプのボリュームが最小になっている。	•アンプのボリュームを調整してください。（アンプの説明書をご覧ください。）	–

現象	原因	処置	ページ
リモコン操作ができない	•本機とリモコン間の距離が遠すぎる。	•本機に近づいて、操作範囲内で操作してください。	7
	•本機とリモコン間に障害物がある。	•障害物を取り除いてください。	7
	•リモコンの電池が切れている。	•電池を全て新しいものに取り替えてください。	7
	•本機の受光窓に強い光が当たっている。	•受光窓に強い光が当たらないようにしてください。	7
	•後面の REMOTE CONTROL スイッチが EXTERNAL 側になっている。	•本機を単独で使用する場合、スイッチを INTERNAL 側にしてください。	17
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない	•ディスクが裏表さかさまに入っている。	•ディスクを正しく乗せてください。	6
	•記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。または MP3／WMA ファイルが正しく記録されていない。	•本機に対応した正しい情報を記録してください。	17
SA-CD ハイブリッドディスクのサウンドモードが切り替わらない	•スタートサウンドモードを CD に設定している。	•スタートサウンドモードをスーパーオーディオ CD に設定してください。	23
PC から音声を出力したときの音量が小さい。	•PC のボリュームが下がっている。	•PC のボリュームを上げる。	21

【USB/iPod】

現象	原因	処置	ページ
表示部に“OverCurrent”と表示される。	• 本機から USB 経由で供給できる電力を超えています。	• 未対応の USB メディアです。動作負荷電流 1A 以下のものをご利用ください。	–
表示部に“FAT Error”又は“Cluster Err”と表示される。	• 未対応のファイルシステムを使用しています。または 128MB 以下の USB メモリーは対応できません。	• 対応するファイルシステム（FAT32 または FAT16）でフォーマットされた、256MB 以上の USB デバイスをご利用ください。	–
表示部に“No File”と表示される。	• 本機で再生可能なファイルが存在しません。	• 対応フォーマットをご確認ください。	17、20
表示部に“DRM Stream”と表示される。	• デジタル著作権管理されているファイルです。	• 本機では未対応の DRM のため再生できません。	18、20
USB は接続されているが音が出ない	• アンプ・スピーカの接続が正しくない。	• ケーブル類を正しく接続してください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
	• アンプの電源がオンになっていない。	• アンプの電源をオンしてください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
	• アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。	• アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
	• アンプのボリュームが最小になっている。	• アンプのボリュームを調整してください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
iPod は接続されているが音が出ない	• 第 5 世代以前の iPod には未対応です。	• “対応している iPod”を参照してください。	16
	• アンプ・スピーカの接続が正しくない。	• ケーブル類を正しく接続してください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
	• アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。	• アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
	• アンプのボリュームが最小になっている。	• アンプのボリュームを調整してください。（→アンプの説明書をご覧ください。）	–
USB 機器の読み込みに時間がかかる。	• 容量の大きい USB 機器を接続したとき、容量によっては読み込みに時間がかかります。大容量のときは読み込みに数分かかることもあります。	• 読み込みが完了するまでお待ちください。	–

保証と修理について

❏保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…………取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号………保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏オーディオ特性

	【スーパーオーディオ CD】	【CD】
• アナログ出力		
チャンネル：	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz～100kHz	2Hz～20kHz
再生周波数特性：	2Hz～50kHz（－ 3dB）	2Hz～20kHz
SN 比：	112dB（可聴帯域）	110dB
ダイナミックレンジ：	110dB（可聴帯域）	100dB
高調波歪率：	0.001%（1kHz、可聴帯域）	0.002%（1kHz）
ワウ・フラッター：	水晶精度	水晶精度
• 出力レベル：		
信号方式：	1.8V RMS stereo	2.4V RMS stereo
サンプリング周波数：	43mW（可変最大）	43mW（可変最大）
• デジタル出力		
同軸出力（ピンジャック）：	—	0.5 Vp-p (75 Ω)
光出力（角型光コネクター）：	—	-19 dBm
• 光学読み取り方式		
レーザー:	AlGaAs	AlGaAs
波長:	650nm	780nm
信号方式	1-bit DSD	16-bit linear PCM
サンプリング周波数:	2.8224 MHz	44.1 kHz

❏総合

電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	25W（電気用品安全法による） 0.3W 以下（スタンバイ時）
最大外形寸法：	440（幅）× 109（高さ）× 344（奥行き）mm
質量：	7.8 kg
許容動作温度:	+5℃ ~ +35℃
許容動作湿度:	5 ～ 90%（結露のないこと）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

❑外観寸法図（単位：mm）

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

http://www.marantz.jp

Printed in China　541110495112M